



←クワの実が赤くなった。もうすぐ紫色になって、美味しくなるはずだが、今年も鳥たちに食べられるのだろうか？

→川風に吹かれて舟に乗る。いまがベストシーズンだ。

うまいぐあいに土日が晴れた。舟頭さんは、はりきっていつもより早い時間からやって来て売店を開けた。いつもは午前十時ごろから営業を始めるが、どういうわけだか十時より早くやって来る客がたまにいる。

この日も棧橋を開くまえから一人の女性が矢切の碑のそばに座ってスケッチブックを広げていた。

私が矢切の渡しに着いたとき、見なれぬ自転車が止めてあったので舟頭さんに、

「だれの自転車？」

そう聞いたら舟頭さんが黙って指さすので、その方向を見たら絵を描く女性に気がついたというわけだ。

こんなに早い時間からやって来てスケッチをする女性など珍しいから近づいて声をかけてみた。

「どちらからお見えなんですか？」
すると女性は、

「流山から来ました」

こともなげにいう。

流山とういと江戸川の上流で、自転車だとたっぷり一時間以上かかる。

今週のクマ

→ようやく夏毛に生え替わったクマはほっとした表情をしている。



→畑の端にノカンゾウなのか、それともニッコウキスゲなのか、いずれにしても園芸種なのだろう花が咲いていた。



「大変だったでしょう」

「ええ、途中で聞きながら来たんですけど道が続いているかどうかからなくてそれでも自転車をこいでるうちに、なんとか着きました」

「絵のほうは、うまく描けましたか？」

「はい、おかげさまで。これから向こうに渡ろうと思うんですが、自転車も乗せてもらえるんですか？」

「ええ、二百円かかりますけどね。人が二百円。合計四百円です」

そういうと、女性はそれじゃこんどは向こうから描こうといって舟に乗って柴又側へ渡って行った。

こんな女性がいるかと思うと、ある日などは自転車でやって来ると矢切の渡し of 広場に自転車を止めてスマートフォンをやり始める者もいる。

なんでも矢切の渡しがポケモンの道場になっていて、いろんなキャラと戦えるのだそう。しばらくゲームをしたのちに、ふたたび自転車に乗ってどこへともな帰って行く。

矢切の渡しには、舟に乗る人たちがばかりではなく、こうしたいろいろな人たちがやって来る。